



「AIピッキングカート」と「SPK」の導入で 作業効率が大幅アップ、生産性も向上



東京ロジファクトリー
TOKYO LOGISTICS FACTORY CO.LTD

東京ロジファクトリー株式会社 様 (鶴ヶ島物流センター)

東京ロジファクトリー株式会社様は、東京システム運輸ホールディングスの倉庫部門として、圏央道沿いを中心に東京・神奈川・埼玉で物流事業を行っています。

今回、新しい出荷業務に伴い、「AIピッキングカート」と「SPK」を導入した倉庫の裏側取材。鶴ヶ島物流センター 所長 井上様にお話を伺いました。

梱包に使う段ボール箱が指示され ピッキングと検品が同時に完了

東京ロジファクトリー様の鶴ヶ島物流センターは、人気コスメブランドの出荷業務を受託されています。

「こちらの荷主様の出荷は、100名規模のスタッフが必要な業務になりますので、シンプルなピッキングと梱包ができる仕組みとして、ピッキングカートでの作業が必要と考え、『AIピッキングカート』と『SPK』を導入しました。

ピッキング時に、カート本体から適切な段ボール箱のサイズが指示されますので、それをカートに載せて作業することで、出荷時の検品・詰め替え作業が不要になります。作業効率がよくなり、大きな魅力だと感じています」

事前に「SPK」で商品の長さ・幅・高さを計測して、商品を撮影した“商品マスター”を作成しているのですが、「AIピッキングカート」でのピッキング時には、商品マスターと照合し、そのまま検品レスで商品を出荷することができるのです。



DC第3事業部
鶴ヶ島物流センター・川越第2センター
所長

井上 成人 様



最寄り駅から徒歩約10分という好立地で、人員の確保がしやすいロケーション

物流効率を考えた仕組みづくりで ミスが激減し、生産性が向上

「リストでのピッキングは目視で行うため、どうしてもミスが起きてしまいます。検品時に正しい商品を取りに行くことで、余計な時間が掛かっていました。

『AIピッキングカート』は、商品画像が表示されることで



写真上:それぞれの注文にぴったりな箱に直接、ピッキングした商品を投入。
写真下:鶴ヶ島物流センターには、50台の「AIピッキングカート」が導入され、ピーク時にはフル稼働する



鶴ヶ島物流センター
所長代理

清水 寮 様

「ピッキング時に取りやすい商品から取っていくので、通常はヒット商品の近くで混雑が発生していますが、『AIピッキングカート』の導入により、画面に動線が表示されるので、混雑が回避されています」

わかりやすく、商品マスターと照合しながらピッキングできるので、ミスがなくなり生産性が向上しました」

東京ロジファクトリー様は、効率配送を実現することで荷主様のニーズに応える品質を目指しています。

「お客様に対して、品質面の担保ができることが重要です。物流効率を考えた仕組みづくりができる『AIピッキングカート』と『SPK』を導入することで、品質を追求しながら業務を行うことが我々のミッションだと思っています」

撮影協力：ちふれホールディングス株式会社 様

「AIピッキングカート」「SPK」導入後

新商品入荷時の作業

「SPK」で
商品マスターの作成

日常の作業

「AIピッキングカート」で
ピッキング

「SPK」で商品マスターの作成

1 商品の長さ・幅・高さ
と重量を計測



2 商品の撮影を行う



3 商品マスターを登録



「AIピッキングカート」でピッキング

1 指示された段ボール箱
取りに行く



2 ピッキング作業と
同時に検品
(検品レス)



3 商品の詰め替えなしで梱包完了

一般的には、ピッキングした商品を配送用の箱に詰め替える作業が発生するが、「AIピッキングカート」「SPK」であればこの作業は不要。



製品の仕様は予告なく変更されることがあります



事例は
こちらの動画でも
ご覧いただけます。



新しい常識を創造する

株式会社 寺岡精工

〒146-8580 東京都大田区久が原5-13-12

www.teraokaseiko.com